

2019年1月吉日

関係各位

日本緑化工学会 緑化植物問題検討委員会
委員長 今西 純一

「生物多様性保全のための緑化植物の適切な取り扱いの実現に向けた提言（案）」
に対する意見の募集について（依頼）

1. 背景

日本緑化工学会は2002年に「生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言」（以下、2002年提言）を公表しました。その後、生物多様性保全に関する議論が進み、法律や行動計画、指針等が整備され、緑化において地域の生物多様性に対してより一層配慮する必要性が増しています。しかし、緑化の現場においては2002年提言の内容を十分に実践することが困難な状況が続いており、この状況を改善する必要があります。そこで、緑化植物問題検討委員会では、実行困難となっている要因を分析し、本学会をはじめとする緑化関係者が目指すべきビジョンや取り組むべきアクションについて、提言（案）としてまとめました。本案について、緑化に関わる皆様からご意見を募集します。

2. 意見募集の対象

生物多様性保全のための緑化植物の適切な取り扱いの実現に向けた提言（案）

3. 意見募集要領

（1）意見募集期間

2019年2月20日（水）まで

（2）意見提出方法

次の様式により、Google フォーム、電子メールのいずれかの方法で（3）の提出先へ提出してください。なお、郵送や電話での意見提出はお受けいたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

（注意事項）

- ・ 提出いただきましたご意見については、氏名、電話番号及び電子メールアドレスを除き、すべて公開される可能性があることをあらかじめご了承ください。
- ・ 皆様からいただいたご意見に対し、個別にお答えすることはできませんので、ご了承ください。
- ・ ご意見の対象となる提言（案）の該当箇所を明記してください。
- ・ ご意見中に、個人に関する情報であって特定の個人が識別しうる記述がある場合、ま

たは法人等の権利等を害するおそれがあると判断される場合には、公表の際に当該箇所を伏せさせていただくこともあります。

〈意見提出様式〉

宛先：日本緑化工学会 緑化植物問題検討委員会

件名：日本緑化工学会提言（案）に対する意見

氏名：

所属：

学会員・非学会員の別：

職業（学生を含む）：

電話番号：

電子メールアドレス：

〈意見〉

各意見の最初に、提言（案）の該当箇所を行番号でお示してください。

〈例〉

（１）１０行目 A 植物は現在ほとんど利用されていないため、B 植物を挙げる方がよいのではないのでしょうか。

（２）２０～２５行目 緑化業界では C 指針の影響力が大きいため、C 指針に関する記載を追加することが望まれます。

※ 記載の際は、ローマ数字（I）などの機種依存文字は文字化けするためお使いいただけませんので、ご注意ください。

（３）意見提出先

日本緑化工学会 緑化植物問題検討委員会 あて

〔１〕【推奨】 Google フォームの場合 <https://goo.gl/forms/mX90R4wRcsgWjMil2>

※ 日本緑化工学会ホームページに本フォームへのリンクを掲載します

〔２〕電子メールの場合 teigen@jsrt.jp

※ 電子メールにて提出される際は、上記様式に準じてメール本文に記載の上、送付してください。添付ファイルによるご意見の提出はご遠慮願います。件名に「日本緑化工学会提言（案）に対する意見」と記載してください。

４．資料の入手方法

日本緑化工学会ホームページ <http://www.jsrt.jp/tech/teigen2019.html>

５．問い合わせ先

日本緑化工学会緑化植物問題検討委員会

電子メール：teigen@jsrt.jp